

科目名 Course Name	会計学Ⅱ Accounting II				ナンバリング No.	C4-013	
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	山崎 好一						
連絡方法	非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP4						
授業の概要と到達目標	会計学は、社会のさまざまな場面で利用される会計の役割を理解することを目的とする。簿記Ⅰとともに、財務会計論や管理会計論などの会計学関連科目のもっとも基礎的な科目である。前期は会計情報を作成する側から、財務諸表が公表されるまでの計算の仕組みや手続きを学習し、後期は、会計情報を理解する側から、実際の企業の財務諸表を分析し、そこから何がわかるのか、あるいは財務諸表だけではわからないことは何かを理解できるようにする。						
授業の方法	部分対面型で授業を実施していく。後半の企業分析では、分析対象とする企業を学生が能動的に選択し、グループワークを通じてワークシート型のレポートを完成させる。 課題に対するフィードバックは、原則として授業内に行う。						
学習成果	L01						
	L02	製造会計の決算書及び原価計算の基礎を覚える。					
	L03	決算書の外部利用、内部利用、管理会計の基礎を覚えること。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業で不明であった点は、必ず次回授業までに調べておくこと。又、科目担当者に質問に行くこと。						
教科書/参考図書	山浦久司・廣本敏郎編著「ガイダンス企業会計入門(第4版)」白桃書房 2,057円						
履修上の留意点やルール等	小テストを毎回理解するように復習すること。電卓を持参すること。 簿記Ⅱは、関連科目であるため、あわせて履修することをすすめる。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:税理士 職歴 38年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。		7	8	
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせて確認テストを行い、理解度に応じて評価する。		23	22	
試験					
その他	グループワークにおける貢献度に応じて評価する。		20	20	
合計			50	50	

	回数	授業計画
16	授業内容	製造会社の決算書(2) 原価の意義、費目別計算
	事前・事後学習	授業内容をよく理解し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
17	授業内容	製造会社の決算書(3) 製品別計算
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
18	授業内容	製造会社の決算書(4) 製造原価報告書の作成
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
19	授業内容	製造会社の決算書(5) 標準原価計算
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
20	授業内容	小テストとその解説 原価計算の基礎
	事前・事後学習	第 15 回～第 19 回の授業内容を復習しておくこと。テストの問題をよく復習しておくこと。
21	授業内容	企業分析(1) 企業情報の入手、企業概要の把握
	事前・事後学習	企業分析ワークシート①を完成させておくこと。
22	授業内容	企業分析(2) 財務情報の整理と理解
	事前・事後学習	企業分析ワークシート②(前半)を完成させておくこと。
23	授業内容	企業分析(3) 収益性・安全性分析(時系列比較)
	事前・事後学習	企業分析ワークシート②(後半)を完成させておくこと。
24	授業内容	企業分析(4) 企業間比較
	事前・事後学習	企業分析ワークシート③を完成させておくこと。
25	授業内容	決算書の内部利用(1) 財務会計と管理会計、変動費と固定費
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
26	授業内容	決算書の内部利用(2) 損益分岐点、安全率
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
27	授業内容	決算書の内部利用(3) 企業組織と業績評価
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
28	授業内容	決算書の内部利用(4) 投資案の評価
	事前・事後学習	授業内容をよく復習し、配付プリントの例題を解けるようにすること。
29	授業内容	小テストと解説 管理会計の基礎
	事前・事後学習	第 21 回～第 28 回の授業内容を復習しておくこと。テストの問題をよく復習しておくこと。
30	授業内容	財務会計と管理会計 経営者による会計情報の利用
	事前・事後学習	本講座の内容を復習し、より高度な原価計算の学習に進んでほしい。